

【NEWS RELEASE】

2026 年 10 月 29 日
SMBCコンサルティング株式会社

AI時代の学び方、基礎知識は「生成AI」、 判断・マネジメントは「対人・対面」を重視

「2026年働く人の学びに関する調査」結果発表

SMBCビジネスセミナー「みんなの研修」調べ／研修受講者3,706件の回答を調査

SMBCコンサルティング株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高崎栄一、以下：当社）は、SMBCビジネスセミナー「みんなの研修」の受講者を対象に、仕事に必要な知識・スキルの学び方や生成AIの利用状況などを尋ねるアンケート調査を実施し、3,706件の回答を集計しました。

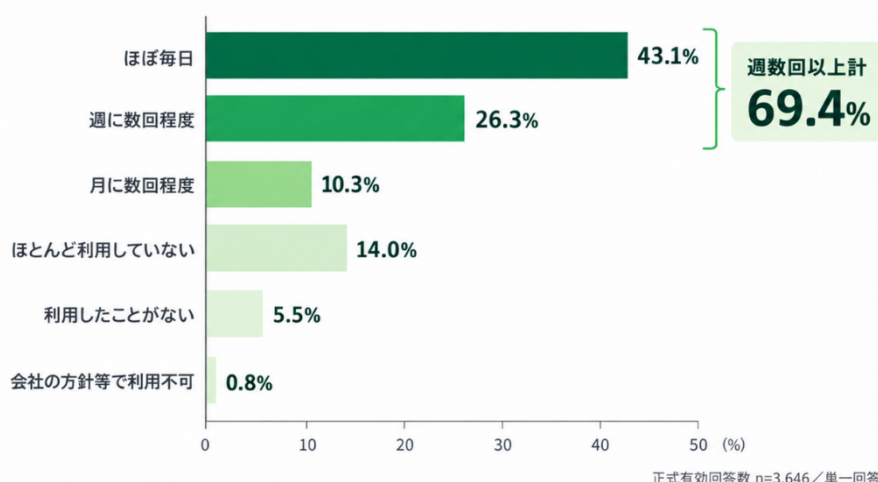
調査の結果、生成AIが仕事や学習の手段として利用される一方、基礎知識の習得では「生成AI」、判断力・意思決定力やマネジメント・部下育成では「対人・対面」と、学ぶ内容によって選ばれる方法が異なることがわかりました。

【調査結果】

1. 生成AI、仕事で約7割が週数回以上利用、学びの手段でも最多

仕事での生成AI利用頻度

Q. あなたは現在、仕事で生成AIをどの程度利用していますか？



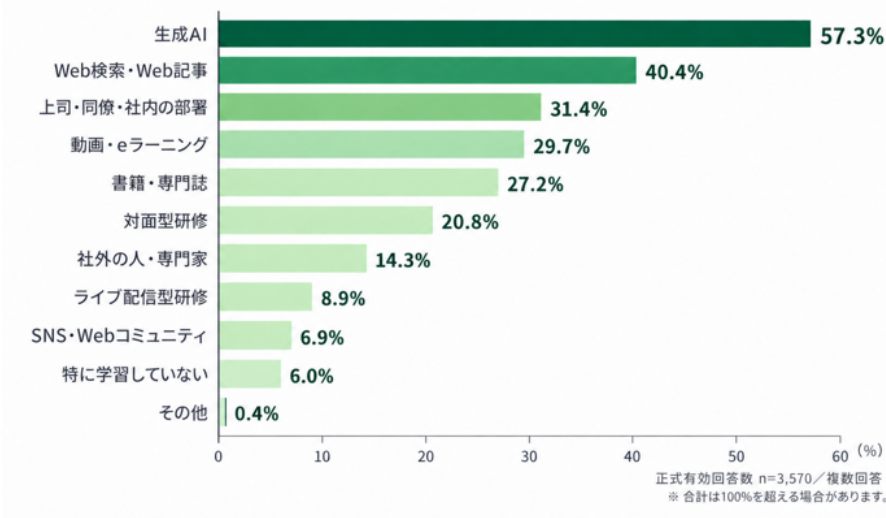
※仕事での生成AI利用頻度：正式有効回答数3,646件、単一回答

仕事で生成AIを「ほぼ毎日」利用する人は43.1%、「週に数回程度」が26.3%となり、合計69.4%が週数回以上利用していることがわかりました。

また、過去3か月間に仕事に必要な知識・スキルを学ぶために利用した手段では、「生成AI」が57.3%で最多となり、「Web検索・Web記事」の40.4%を上回りました。生成AIが仕事での利用に加え、学びの手段としても利用されていることがうかがえます。

過去3か月に利用した学びの手段

Q. 過去3か月間、仕事に必要な知識・スキルを学ぶために、どのような手段を利用しましたか？



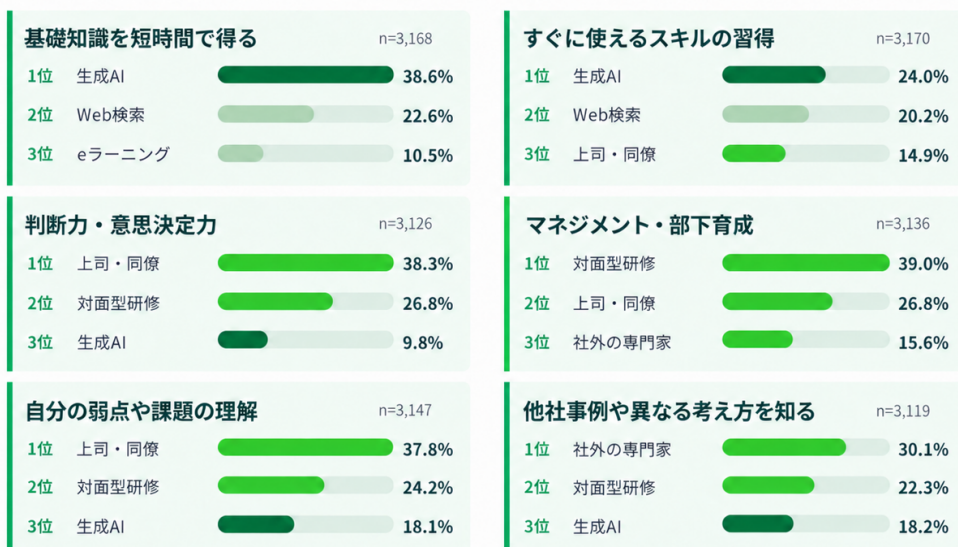
※過去3か月の学習手段: 正式有効回答数3,570件、複数回答

2. 基礎知識は「生成AI」、判断・マネジメントは「対人・対面」

学ぶ内容別「最も適している方法」上位3位

各テーマで、8つの方法から1つだけ選択（Q9）

■ 生成AI ■ 対人・対面の方法（対面型研修・上司・同僚・社外の専門家） ■ その他の方法（Web検索・eラーニングなど）
※各バーの色は、学びの方法の区分を示しています



正式有効回答数（n）はテーマごとに異なります。各行はそのテーマでの上位3方法のみを表示。

※各テーマについて、8つの学習方法から最も適していると思うものを1つ選択。

※「対人・対面」は「対面型研修」「上司・同僚」「社外の専門家」の3方法を合計した本調査上の分類です。

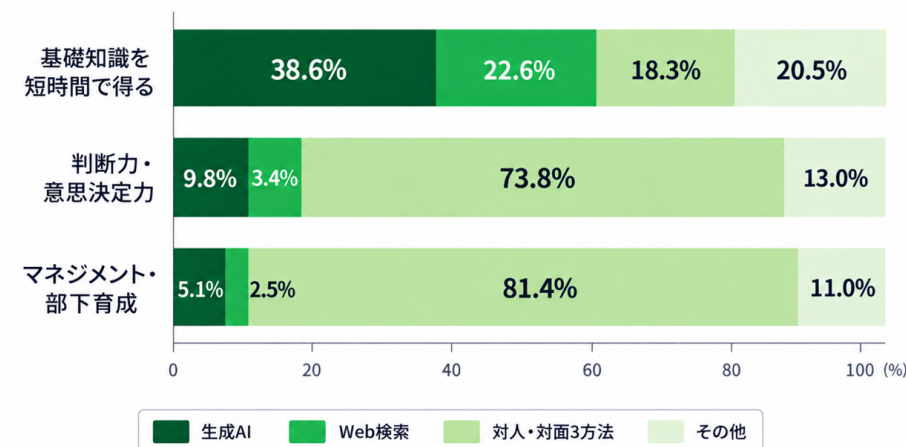
※正式有効回答数はテーマごとに異なります（3,119～3,170件）

学ぶ内容別に最も適していると思う方法を尋ねたところ、基礎知識の習得では「生成AI」が38.6%で最多となりました。

判断力・意思決定力では「上司・同僚」が38.3%、マネジメント・部下育成では「対面型研修」が39.0%でそれぞれ最多となり、学ぶ内容によって選ばれる方法が異なる結果となりました。

基礎知識・判断力・マネジメントにおける学び方の比較

Q. 学ぶ内容によって、最も適していると思う方法はどのように異なるか



「対人・対面3方法」＝「対面型研修」「上司・同僚」「社外の専門家」の合計 有効回答数：基礎知識 n=3,168／判断力 n=3,126／マネジメント n=3,136

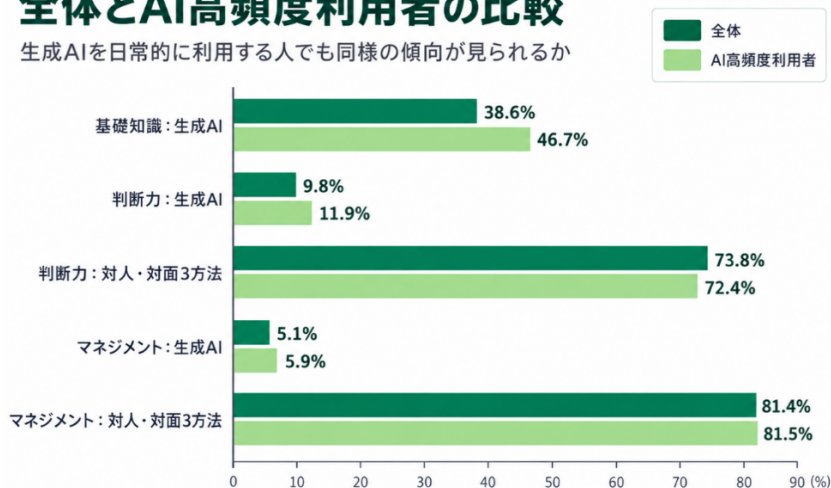
「対面型研修」「上司・同僚」「社外の専門家」の3つの方法を合計した「対人・対面」の割合は、判断力・意思決定力で73.8%、マネジメント・部下育成で81.4%となりました。

生成AIが学習手段として利用されるなかでも、基礎知識の習得と、判断やマネジメントに関する学びでは、適していると考える方法に違いが見られます。

3. AI高頻度利用者でも、判断・マネジメントは「対人・対面」が7～8割

全体とAI高頻度利用者の比較

生成AIを日常的に利用する人でも同様の傾向が見られるか



AI高頻度利用者＝仕事での生成AI利用頻度が「ほぼ毎日」または「週に数回程度」の人

AI高頻度利用者 N=2,530

※正式有効回答数：基礎知識2,150件、判断力2,136件、マネジメント2,143件

仕事で生成AIを「ほぼ毎日」または「週に数回程度」利用する2,530人に限定して分析したところ、基礎知識の習得では46.7%が「生成AI」を選択しました。

一方、判断力・意思決定力では72.4%、マネジメント・部下育成では81.5%が「対人・対面」の学習方法を選択しました。生成AIを日常的に利用する人に限っても、基礎知識では生成AI、判断力やマネジメントでは対人・対面という、全体と同様の傾向が見られました。

【調査結果を受けて】

今回の調査では、生成AIが仕事や学びの手段として利用される一方、学ぶ内容によって適していると考えられる方法が異なる結果となりました。特に、基礎知識の習得では生成AIが多く選ばれる一方、判断力・意思決定力やマネジメント・部下育成では、上司・同僚や対面型研修など、実際に人と向き合う方法が多く選ばれています。また、こうした傾向は生成AIを日常的に利用する人に限定しても同様に見られました。

SMBCコンサルティングでは、生成AIを含む多様な学習手段の特長を踏まえながら、ビジネスパーソンがそれぞれの課題や役割に応じて必要な能力を身につけられるよう、実践的な研修機会の提供に取り組んでまいります。

【調査概要：「2026年働く人の学びに関する調査」】

調査主体：SMBCコンサルティング株式会社

調査対象：SMBCビジネスセミナー「みんなの研修」の対面型セミナー受講者

調査期間：2026年8月19日から同年9月30日

集計対象：3,706件

調査方法：対面型セミナー受講者へのアンケート（紙）

集計基準：各設問の無回答・回答ルール違反等を除く正式有効回答を分母として算出

※本調査は研修受講者を対象としており、全国の就業者を代表する標本ではありません。

※設問によって正式有効回答数が異なります。複数回答設問では回答率の合計が100%を超える場合があります。

※本調査は、学習方法についての回答者の認識を尋ねたものであり、各学習方法による実際の学習効果を比較したものではありません。

<引用・転載時のクレジット表記のお願い>

本調査の引用・転載に際しては、「2026年SMBCビジネスセミナー『みんなの研修』調べ」とクレジットを明記いただきますようお願いいたします。

【会社概要】

会社名：SMBC コンサルティング株式会社

本社所在地：〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-4 三井住友銀行呉服橋ビル

URL：<https://www.smbc-consulting.co.jp/>

SMBC コンサルティング株式会社は、「成長するよろこびをすべての人に。」

をコーポレートスローガンに掲げ、企業の経営課題解決と人材育成を支援しています。

「SMBC ビジネスセミナー みんなの研修」をはじめ、企業向け研修

や法人会員組織「SMBC 経営懇話会」の運営、コンサルティングなどを通じて、

企業の成長と人材育成を後押ししてきました。これまでの研修受講者

数は延べ 100 万人を超え、新入社員から現場の実務担当者、管理職、経営層まで、幅広い階層の人材育成をサポートしています。

今後も SMBC グループのネットワークと、これまで培ってきた知見を活かし、企業の持続的な成長を支えるサービスを提供してまいります。

成長する
よろこびを
すべての人に。

SMBCコンサルティング

【本件照会先】

SMBC コンサルティング 企画部

お問合せ URL：<https://www.smbc-consulting.co.jp/inquiry>

以 上